

岩手郡医報

高橋 孝先生書



Contents

岩手郡医師会一学術講演会

● 医師会長のつぶやき

1) 痴呆の診断と治療

岩手医科大学神経内科講師

高橋 牧之介

智

2) 前立腺肥大症と前立腺癌

岩手医科大学泌尿器科教授

高橋 智昭

● 慶事 高橋牧之介会長「日本医師会優功賞」を受賞を祝して

藤岡 知昭

● 平成13年度岩手郡医師会忘年会

西島 康之

● 平成13年度岩手郡医師会産業医実地研修会

柄内 秀彦

● 産業医の職場巡視の意義 岩手県医師会産業医部会幹事

坂井 博毅

● 滝沢村心肺蘇生実技指導講習会

中谷 重直

● 平成13年度岩手山噴火対策防災訓練—救助及び医療救護訓練に参加して

柄内 秀彦

岩手郡医師会副会長 高橋 孝

● 計報 元岩手郡医師会議長 佐藤郁郎先生御逝去(享年73才)

岩手郡医師会々長 高橋 牧之介

●弔辭

高橋 孝

● 表紙について

● 編集後記

2001.11.No.72

岩手郡
医師会

医師会長のつぶやき

岩手郡医師会会長 高橋 牧之介



医師会長として過ぎ去った過去を振り返れば、種々雑用に振り回されたまま、長い年月が過ぎてしまったように思います。こんな中にあって、最近よく考えることは、「地域医師会の存在は」また「これからは」ということです。

それは言い換えると、医師会活動、医師会内行事への会員の関心の無さとも言えます。急に始まったことではありませんが、医師会総会、講演会、種々会合の時などに、いやという程、考えさせられます。少人数の医師会ですから、多い所とは違い、少人数なりの利点もあると思うのですが。活動は限られた会員のみ、多くは殆ど無関心。医師会へ顔も向けなければ、歩も進めない。地域医師会と言うものは、何処もこんな状況なのでしょうか。だとすると、これからを考えると非常に困ったことです。

いよいよ「聖域なき構造改革」の風が堰を切ったように吹き荒れて来ると思います。それに伴う「痛み」も避けて通れないものと考えます。そんな中にあって、眞面目にその風を、痛みをうける我々地域の医師会員としては、今後どう対処すれば良いのか、難題は山積しております。

このような時期においても、医師会内では、多くの事柄が会員に対して一方通行であり、何をしても反応無しの状態です。これが我々を含めての地域医師会の現状のように思われます。会員の多くは県医師会・日本医師会の行動、通達等に対し、各自にそれなりの考えはあるのでしょうかが、殆ど無関心になっているようにも思われます。この前の参院選なども良い例ではないでしょうか。

地域医師会自体が現状をより深刻に受けとめなければならないのは当然ですが、反面多くの地域医師会は新制医師会創設50数年を経過し、会員も二代目、三代目となり、年齢層、個々の考え方などは変わってきていると思います。会員構成が変われば、それに伴い執行部も当然それなりの変化を考えなければなりません。

我々の医師会も全く同様であり、今まさに、そんな時期にあると思います。

色々と感ずることを述べさせて頂きましたが、要は日本医師会・県医師会あっての地域医師会ではなく、地域医師会あっての県医師会となるべく、地域医師会がそれなりの活性化、充実をはかるべきであります。そして、その大前提是、各会員が医師会活動により積極的に参加することに尽きると言えると思います。

これから我々の医師会の在り方は、多方面にわたり、活動のより活発な、より会員参加型の医師会にならんことを願っております。



岩手郡医師会学術講演会 『痴呆の診断・治療』

岩手医科大学神経内科講師 高橋 智

核家族化、高度情報化など社会構造の変化に伴い、高齢者が一人暮らし、あるいは夫婦二人で社会生活を営むための認知機能水準のハードルが高くなり、社会生活に支障をきたし、もの忘れを初めとする認知機能障害を訴えて、外来を受診する軽症痴呆患者の数が年々増加している。

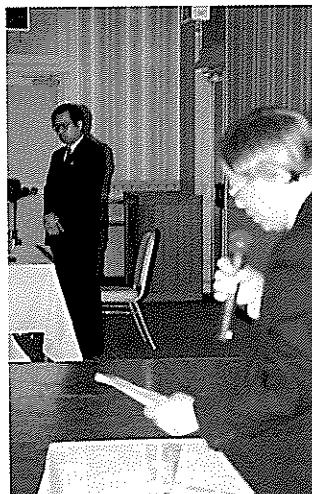
物忘れを訴え、あるいは痴呆を心配して外来を受診する患者、家族は、痴呆の原因疾患の多くは治らない進行性の疾患であると理解して、『痴呆なのか否か』、『ぼけたのかどうか』を心配して受診する。したがって、外来初診時の痴呆診療の要点は、まず、痴呆の有無を正確に診断し、原則的には、患者および家族(特に主介護者)に、痴呆なのか否かを、明確に伝えることである。痴呆の定義の要点は、記憶障害と他のカテゴリーの認知記憶障害を認め、記憶障害を含めた複数の認知記憶障害を伴うこと、それにより病前に比して、著明な機能低下が出現し、社会生活に支障を生じることである。痴呆の原因診断では、せん妄

やうつ病性仮性痴呆を除外し、痴呆の診断が確定したら、内科的・外科的治療が必要な treatable dementiaをスクリーニングする。

そのうえで、老年期痴呆の大半を占めるアルツハイマー病、脳血管性痴呆およびその混合型に関して、なるべく、早期に診断を確定し、必要な薬物療法、非薬物療法を開始し、介護保険の利用を含めたケアの指導を行う。



講演会場



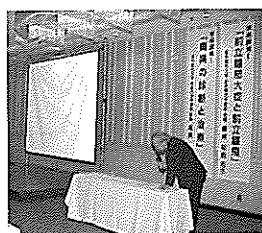
司会の西島副会長



演者 高橋智先生

前立腺肥大症と前立腺癌

岩手医科大学泌尿器科教授 藤岡 知昭



司会の高橋副会長



演者 藤岡先生

統計学的に前立腺癌の死亡率は欧米では、癌死の2～3位と高値であるが日本ではこれまで年間3,000人と死亡率の少ない疾患であったが、食事や生活環境の西欧化、そして高齢者会を迎えた近年、急速に死亡率が増加傾向にある重大な疾患となって来た。

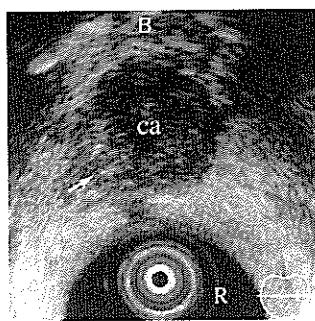
前立腺癌の微少病変は高齢男性の約20%に存在するとと言われ、微少病変から臨床的前立

腺癌に進展するのはその数%と考えられている。微少病変の存在は日本人と欧米人との間には優位差はあまりないが、発病率が異なる。

前立腺癌はアンドロジエン依存の癌であり、初期癌では内分泌療法が極めて有効である。近年そのホルモン療法が進歩し、手術せずに治癒する事が出来るので、早期発見が重要である。

50才以前の前立腺癌は極めて稀で、60歳台、70歳台と年齢增加とともに、急速に増加し、発病平均年齢は70～75歳である。また腫瘍マーカーPSAが鋭敏に反応するため、60歳以上の男性には初期スクリーニング法として活用

し、全科で初期癌の発見に勤めるべきである。そして前立腺癌死亡率の軽減を計るべきである。



前立腺癌経直腸超音波断層像

慶事

副会長 西島 康之

高橋牧之介会長におかれましては、この度長年にわたり日本医師会代議員として、日本医師会活動の充実に貢献され「日本医師会優功賞」また、先生には、永きに亘り地域住民の信望に応え、地域医療の向上、数々の保健医療活動に尽力貢献され滝沢村より「村勢功劳賞」も受賞されました。受賞誠におめでとうございます。先生のその郷土愛と人間愛に対し、会員一同心から敬意と祝意を表すものであります。先生の受賞は、私共会員の誇りであります。ささやかな記念品ですが会員の気持ちを贈呈させていただきます。この度の受賞を契機に健康には充分ご留意され、地域医療、私共岩手県医師会・岩手郡医師会の発展向上のため益々のご活躍をご祈念申し上げます。

(西島 康之)



祝辞を述べる
西島副会長



謝辞を述べる高橋会長

尚、記念品は木版画家井堂雅夫作「盛岡の四季Ⅱ」AP版と純銀性ダルマ1基を贈呈しました。

平成13年度岩手郡医師会産業医実地研修会報告

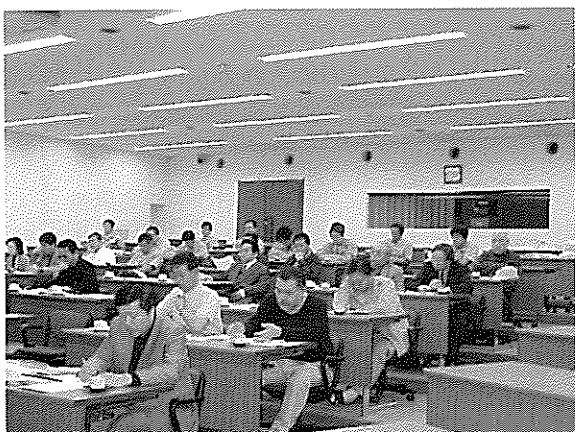
広報担当理事 坂井 博毅

日本医師会認定産業医基礎、生涯（実地）研修として、平成13年度岩手郡医師会産業医実地研修会が平成13年10月13日（土）午後2時から玉山村のアルプス電気株式会社で行われた。医療法人新堂、八角病院院長、三善悟先生の司会進行で、会長代理の高橋孝副会長のご挨拶、アルプス電気株式会社システム機械事業部の方々によるアルプス電気の事業内容と健康管理システムの説明をいただいた。

その後「産業医の職場巡視の意義」と題して関東自動車工業（株）の産業医、中谷重直先生の御講演を拝聴した。（そのサマリーは次ページにあります。）最後にグループに別れて工場内を見学させていただいた。いつものことながら、実地研修をさせていただくアルプス電気株式会社の方々に心から感謝の意を表したい。ありがとうございました。



司会進行の三善先生



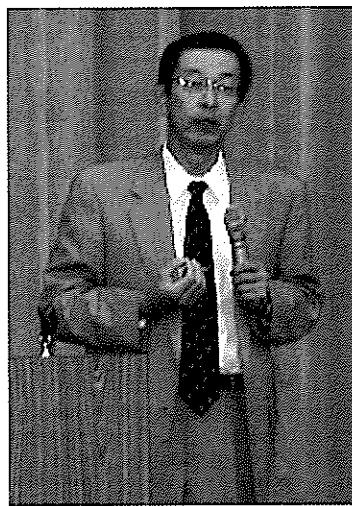
研修会風景



工場見学

産業医の職場巡視の意義

岩手県医師会産業医部会幹事 中屋 重直



「産業医は、少なくとも毎月1回作業場等を巡視し、作業方法または衛生状態に有害のおそれがあるときは、直ちに、労働者の健康障害を防止するため必要な措置を講じなければならない」

労働安全衛生規則15条

職場巡視の意義：労働者の健康状態は、作業環境の影響を強く受ける。職場には健康阻害要因が多く存在する。疾患名が異なっていても同一要因に起因する場合がある。

職場巡視は産業医活動の原点である。医師の仕事でいえば、視診・問診にあたる。

広い視野から、作業環境や作業条件の実状を五感でとらえる。カメラやビデオの記録も有用。

巡視は、実際の作業者とは行動が異なることを忘れずに。（作業者は、暗さや臭いに順応している）（座位作業者を立って見下ろしている巡視とは視野が異なる）

特別な目的がある場合もある。

- 1) 健康診断情報から当該労働者の職場を観察する場合
- 2) 職場巡視の結果で特殊健康診断の対象や検査項目を決めようという場合

職場巡視の内容：産業医であることをことさら明らかに（白衣や態度で）示す場合と、さりげなく離れた所から観察する場合とがある。

- ①見取り図や工程表は事前に準備させ、作業者がいつ、どこに、どれだけいるかを書き

入れる。

- ②特殊な用語が少くないが、類似のものとの違いを理解するように努める。
- ③最初は平常作業・主作業を理解することにし、回を重ねるに従い、臨時・補修作業なども見る。
- ④事業所看護職や検診スタッフを同行できるように考慮する。
- ⑤「生産されている物」に関心が向きがちであるが、環境と人との重視する。
- ⑥作業者の立ち入る箇所はすべて（休憩室・食堂・トイレ）巡視する。

注意：

- 作業者の信頼と親近感を深めるように配慮する。初めての巡視では特に、作業者に不安を与えることのないようにその場での発言は慎重にし、巡視後にスタッフと話し合って適切な指導方法を探る。あら探しは目的でない。
- 作業場の清掃は作業者自身で行う場合と、清掃員が別にいる場合がある。
- 外観からは保護具などの装備がわからないことがある。
- 「作業環境測定」の記録は有用であるけれども、巡視とは目的が違う。（法定の測定についての知識は持ちたい）
- 「天気の悪い日はこんなものじゃないです」といった言葉はメモしておく。
- 作業者の経験度合いや労働組合での地位、あるいは職場内の人間関係など、巡視では知り得ない要因も少なくない。
- 手持振動工具を持つするといっても熟練者と素人とでは力の入れ方が同じではない。
- 有機溶剤の適用除外基準（種類・消費量および気積が要素）の知識もある方がよい。

職場巡視と作業環境の見方

職場巡視の目的（岩手労働局安全衛生課課長 桜井忠房氏より）

1) 人間関係作り

職場巡視は、普段会えない方々と顔見知りになり、より良い人間関係を作るチャンスです。知っている同士なら、つまらない誤解も生じません。

2) 職場を知る

従業員との面接の際、一度行ったことのある場所の描写なら、会話時間が大幅に節約されます。

3) 適正配置

職場巡視で自ら作業を体験しながら工程の説明を受けることまでできれば、深い理解が得られ、適正配置の判断が的確になることは言うまでもありません。

4) 原因を探求

産業医業務の中で、一般の臨床医と異なるところは、医療サービスの対象となっている集団の暴露を直接見ることができることです。

5) 業務上疾病の予防

まだ疾病事例が発生していないなくても、そ

の作業を続けたならば業務上疾病が起こりうる現場を見付け、これに対して労働衛生の専門家の立場から改善の指摘ができるようになれば、職場巡視の目的は十分に達成されたことになります。

準備：一般論として日本企業における計画立案には、社内組織の理解と人間関係の確立がたいへん重要です。そこでまず、会社の窓口となってくれる人（衛生管理者等）に連絡して協力を取り付けることです。次に巡視の目的（事故や疾病が発生したので作業との関連性を調べたい、というように）をはっきりと説明しておくことです。定例の巡視なのか、事例に基づくスポットの巡視なのか、何がみたいのか等をはっきりさせ、見損なったり、作業を説明できる人がその場にいなかったり、せっかく行ってもラインが止まっていたということがないようにタイミング、同行者、巡視経路をうまく都合してもらうのが良いでしょう。また、巡視のチェックリストを作成しておくことや、服装についても現場と事前に打合せをしておく必要があります。

快適職場づくりを目指して

快適職場づくり
(疲労やストレスを感じる
ことの少ない、働きやすい職場)

快適職場

暑い、寒い、暗い、
蒸す、うるさい

無理な姿勢の作業、
重筋労働作業

疲れる、気疲れ

休憩施設・食堂など
がない

→
作業環境の改善
(空気の汚れ、温度、
照度など)

作業方法の改善
(不自然な姿勢での作業、
重筋作業など)

休憩施設、食堂、洗面所

運動施設などの設置・整備

→
快適な環境
満足感
働きがい
作業能率の向上
職場の活性化
企業イメージの向上

滝沢村心肺蘇生実技指導講習会

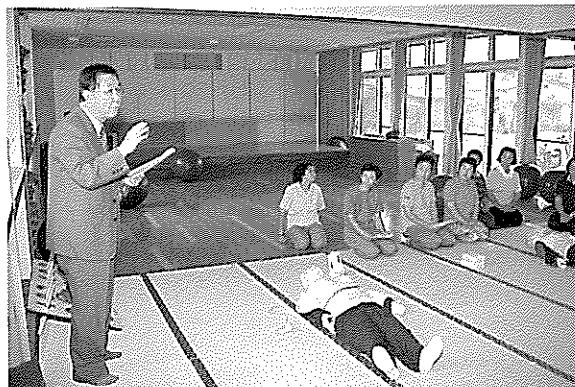
橋内 秀彦

9月9日は「救急の日」で、9月は「救急月間」です。

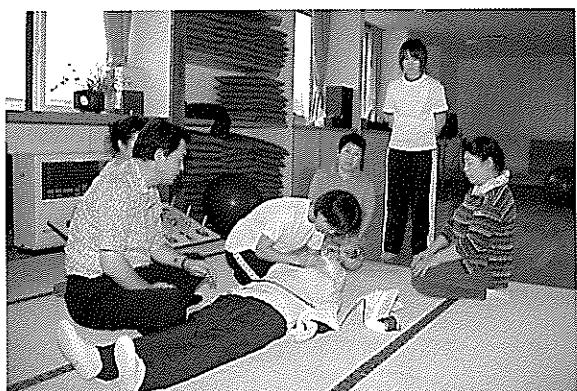
岩手郡医師会の救急医療活動の一つとして、9月16日（日）滝沢村鶴飼ミニティーセンターに於いて、地域住民対象とする「心肺蘇生法」の実技指導を行いました。

最初に高橋会長による「心肺蘇生の必要性・手順等」の講義指導があり、続いて高橋副会長・篠村先生・及川先生・久保谷先生並びに小生とで実技指導を行いました。4・5名の小グループを作り、ほぼマンツーマンスタイルで直接技術指導を行ない実を擧げる事が出来たと思います。

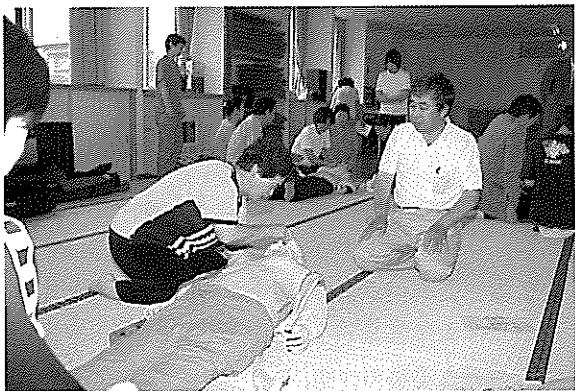
尚、最近蘇生法の一部改正がありました御一読下さい。



基調講演する高橋会長



実技指導風景



実技指導風景②

平成13年度岩手山噴火対策防災訓練、救助及び医療救護訓練に 参加して

岩手郡医師会 高橋 孝

平成13年9月25日、岩手県庁12階での第1回打ち合わせ会以来、11月14日の現地説明会まで数回の綿密な打ち合わせ会議を行い11月18日の防災訓練本番の日を迎えた。救助、救護訓練に参加の医師会関係者は、次の諸先生で、現地には指定通り午前9時45分に全員集合させていた。

岩手医師会より県医師会副会長高橋牧之介先生、真壁先生(岩手医大)川村先生(岩手県立中央病院)ほか8名、零石在住医師会員、久保谷、篠村達雅、高橋、根本、宮沢、更に遠くからご参加下さった三善先生(玉山村)、柄内先生(滝沢村)を加え岩手郡医師会員7名、更に桂先生(零石病院長)の参加だった。

見学場所の零石町葛根田川に架かる矢筈橋の上には、河川敷で行われる訓練を見ようとする見学者で溢れ、河川敷には、倒壊家屋、倒木などの被害現場が作られ、自衛隊では架橋訓練が行われていた。分割みのスケジュールの中で防災ヘリがホバーリングしながら巧

みに行う孤立者救助訓練をマイクロバスの中で見ながら出動時間を持った。

午前10時30分救助訓練に参加、盛岡西消防署零石分署隊のサイレンを鳴らしながらの先導に続き零石病院、郡医師会、県医師会の順にトリアージポスト、救護所に到着、トリアージ、救護、応急処置の訓練を行って、午前11時15分定刻通り訓練は終了しました。

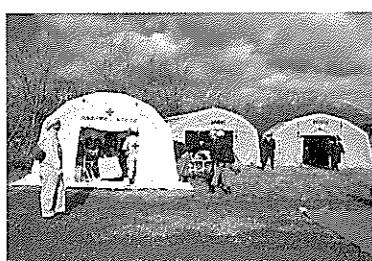
その後、参加した郡医師会員の反省会で、医療については毎回参加してみて、本番に近い訓練は不可能とも考えておりますが、災害救急の柱であるトリアージについては、重要性は認めながらも、実際の災害時に、四段階のトリアージ分類が可能だろうか、との疑問が討議され、円滑な搬送業務の確保こそ重視さるべきであるとの意見が大勢を占めていました。

この結論は、阪神、淡路の災害体験と過日のテロ災害の教訓を踏まえての反省点のひとつでもあります。

災害発生の本番時を思えば、些か不謹慎な感想ですが、今回の訓練当日は雨も雪も降らず、穏やかな日和に恵まれました。お疲れのところ、貴重な日曜日を割き、ご参加頂いた皆様に地元に生活する医師たちを代表して、厚くお礼を申し上げます。



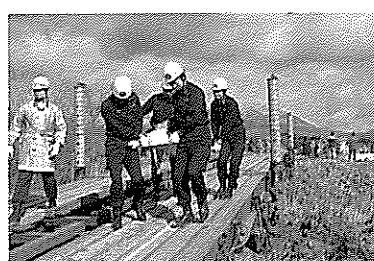
岩手郡医師会参加者記念撮影



野外医療班救護所



トリアージ実習



搬送実習



トリアージポスト実習



消防隊員と応急処置実習



佐藤郁郎先生（享年73歳）

岩手郡医師会会員佐藤郁郎先生には、ご病気療養中のところ、11月28日（水）午前2時24分、73歳をもってご逝去されました。

会員一同、謹んでお悔やみ申し上げます。

〈略歴〉

学歴 昭和28年3月

岩手医科大学医学部卒業

主な職歴

昭和29年10月 岩手県立大迫病院（11ヶ月）

昭和30年10月 国鉄盛岡鉄道病院
(18年6ヶ月)

昭和49年4月 国民健康保健葛巻病院
(院長)

平成10年3月 退職（24年間）

主な表彰歴

昭和62年9月 永年勤続功労（全国町村会）

平成6年7月 へき地医療功労
(自治体病院協会)

平成6年11月 へき地医療功労（顕彰会）

平成10年10月 厚生大臣表彰

平成10年11月 葛巻町町勢功労者

本日ここに岩手郡医師会理事として長期に亘り医師会活動に地域医療に尽瘁（ジンス）され、その功績甚大であった佐藤郁郎先生の葬儀にあたり、岩手郡医師会会員一同と共に、謹んでご逝去を悼みご冥福をお祈り申し上げます。

先生は3年前、「体調は良いんだが血尿が出た、何だろう」と私の所に来た時から闘病が始まりました。

岩手県立中央病院で通院治療で経過良好に平常勤務を続けて参りました。

今年9月の初め頃「体調は良いけど疲れた、少し体を休めようと思っている」と言っていましたが、まさかあの声が最後になろうとは思いもよらぬことで、必ずや早くに回復なさるものと信じておりました。しかし、病魔はついに先生を奪うところとなり不帰の客となつて黄泉に旅立たれてしまいました。

私は、28日の朝、先生の訃報に接しました。いつかは、この日が来ないはずはないと覚悟はしていたものの、現実に訃報に接し言葉にしきれぬものが胸中にふくらむばかりです。先生は、学生時代より万能スポーツマンで、まさに超人と呼ぶにふさわしい方で百まで生きると宣言していたし、それを当然のことと思つていただけになんとも残念であります。誠に哀悼痛恨の情に耐えません。

先生は、昭和28年岩手医科大学を卒業後、盛岡鉄道病院に18年6ヶ月の勤務のあと、国民健康保険葛巻病院に院長として24年間勤務なさいました。その間、地域医療のため献身的にお勤めなされ、医療に携わる者の範なる医師としてのご活躍ぶりを私たちは尊敬崇拜しておりました。

院長就任以来、先生は医師会の皆さんに推されて役員として長期にわたって診療の傍ら地域住民が安心して望ましい医療を受けることのできるような諸条件を整えることに尽力されました。そのような功績により昭和62年

には全国町村会より永年勤続功労、平成6年全国自治体病院協議会よりへき地医療功労、日本顕彰会よりへき地医療功労、平成10年には厚生大臣表彰と葛巻町町勢功労者として表彰され、引き続き奉仕に尽瘁しておられました。

先生は、温厚誠実な学究の徒で、医師会にあっては緻密な思考力と卓越した指導力を遺憾なく發揮され岩手郡医師会の運営に寄与くださいました。

これからもご指導頂かなければならぬ時に有為な指導者を失ったことは当医師会として甚大な損失で痛恨の極みであります。

ご遺族の方々のお悲しみも如何ばかりとお察し申し上げお慰めの言葉もございません。幸い、ご子息も先生の後を継いで医療の道に精進しておられますことは何より心強いことあります。

いよいよ最後のお別れを申し上げる時が来てしましました。

何卒、我々を見守りながら安らかにお休み下さい。先生のご遺影を仰ぎながら数々の功績と人徳を忍び安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

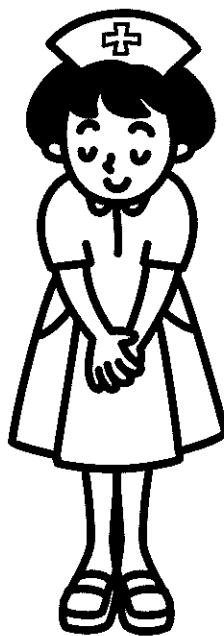
佐藤郁郎先生。では、また会おう。その時までしばらくお別れです。

心ゆくまでゆっくりお休みください。さようなら。

表紙について

零石町 高橋 孝

絵「実」より近々現れるであろう、医療費患者負担引き上げ等など患者の心に背をむける鬼に、打っ付けてくだされば……



みんなの いわて を
医 協
ご利用ねがいます

医用印刷物・医療機器・医療事務機器・衛生材料
その他・保険事業・医療廃棄物処理事業(収集から
各種報告書作成まで)・福利厚生事業・労働保険事
務代行事業・高速道路割引カード・その他各種

TEL.019-626-3880
購買専用 **0120-054-222**
FAX.019-626-3883

URL <http://www.ginga.or.jp/isikyo>
E-mail isikyo@rose.ocn.ne.jp

 **いわて医師協同組合**
IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION
〒020-0024 盛岡市栗園二丁目8番20号 岩手県医師会館内



編集後記

- 年の瀬も迫り厳しい日本の経済は一向に改善されず、北風が肌に冷たい季節がやって来た。医療改革も我々医師にとっても痛みをともなうこととなろう。あすは実りがありますようにと、岩手郡医報の表紙を飾るために高橋孝先生がピーナッツの絵を描いて下さった。来年は日本経済にとっても、医師会にとっても良い年であって欲しいと願わざにはいられない。
- 年末恒例の学術講演会兼忘年会が行われた。演題2題ともわれわれ高齢者には大変身に迫る内容のある学術講演会であったと思う。そのサマリーを載せさせていただいた。
青
- 元岩手郡医師会理事や議長の重席をになっていたいた佐藤郁郎先生が御他界され、その訃報を載せなければならなかった。御冥福をお祈り致します。
- 医報の殆どの写真は柄内先生にお願いしています。いつもの事ながら大変ありがとうございました。
- 来年は岩手郡医師会役員の改選の年になっています。岩手郡医師会も全員参加の活性化した医師会を構築するためには思い切った改革が必要だというのが高橋会長の持論です。今回も次の総会で推薦立候補制による役員選出が行われることに、先の理事会で決定しました。
- 私は広報担当理事としての有言不实行と誤字誤植の責任をとって、辞任せをしていただくことにしました。
- 今程、医師会にとって活力ある若い先生方のエネルギーが必要な時はありません。
- 有言実行の新進気鋭の先生方の立候補を心から期待して止みません。(坂井 博毅)

岩手郡医報：No.72／2001年12月21日発行

編集・発行：岩手郡医師会

印 刷：(株)熊谷印刷